

日本健康学会誌への投稿に関する規定

1. 本誌は総説、原著、資料、論著、学会総会プログラム、その他（学位論文紹介、会員の声、書籍紹介、書評、研究室紹介など）を掲載する。
2. 本誌の発行を円滑にするため、編集委員会を置く。
原稿作成要領は別に定める。
3. 編集事務局は当分の間、下記に置く。

〒 181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2
杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室内
TEL : 0422-47-5512 (内線 3460)
4. 本誌の発行は原則として隔月年6回とし、ほかに総会に際して学会講演集を発行する。
5. 投稿論文は未発表のものとし、和文または英文とする。
6. 論文の筆頭著者と連絡責任著者は日本健康学会会員に限る。ただし、編集委員会による依頼原稿の場合にはこの限りではない。
7. 論文の掲載は受付順を原則とするが、著者の希望により至急に掲載することができる。その場合、至急手数料2万円が必要となる。
8. 論文掲載にかかる費用負担は以下の通りとする。
 - 1) 掲載費用
本文（基本的な図・表を含む）：刷り上がり1ページ当たり3,000円
特別な配置の図・表の場合には追加料金が発生することがある。
別刷料：10部単位で1,000円
 - 2) 学生割引
原稿受付日に学部あるいは大学院の学生である者は、その証拠書類を添えて投稿すれば別刷料以外の掲載費用の50%を割引く。
9. 依頼原稿の掲載費用は全て学会負担とした上で、著者には別刷30部を進呈する。
10. 本誌に掲載された論文などの著作権は日本健康学会に帰属する。
付則：この規定は平成29年4月25日より施行する。
一部改訂して平成元年3月24日暫定、平成2年11月15日改訂、平成18年3月24日改訂、平成24年3月21日改訂、平成26年3月1日改訂、平成28年1月1日改訂、学会名・学会誌名の変更に伴い平成29年4月25日改訂、令和6年3月1日改訂。

日本健康学会関係連絡先

入会・退会・住所変更・年会費払い込み

〒 602-8048 京都府京都市上京区下立売通小川東入西大路町 146 番地

中西印刷（株）内 日本健康学会 会員管理担当

E メールアドレス : jshhe@nacos.com

TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662

郵便振替口座 00120-0-368198

原稿作成要領および関連事項、「日本健康学会」チェックリストは第1号に掲載されています。

原稿作成要領および関連事項

1. 投稿の条件

論文の筆頭著者と連絡責任著者は日本健康学会会員に限る。ただし、編集委員会による依頼原稿の場合にはこの限りではない。投稿する論文は、他の学術雑誌に未発表のもの、あるいは投稿中でないものに限る。

2. 投稿する論文の種類

総説：民族衛生学の分野における特定のテーマについて、これまでの知見、研究業績を総括し、解説した論文

原著：日本健康学会の趣旨に沿った内容で、適切な方法論に基づいて実施され、独創性・新規性とともに科学的価値の認められる論文

資料：民族衛生学の分野において貴重な資料となるデータを提供している論文

論著：民族衛生学の分野に関わるさまざまな問題について、専門家としての意見、提言、提案などを述べたもの

その他：学位論文紹介、会員の声、書籍紹介、書評、研究室紹介など、これらの文章を投稿する際は、編集事務局に問い合わせること。

3. 著作権

本誌に掲載された論文などの著作権は日本健康学会に帰属する。

4. 表紙の記載事項

原稿には表紙をつけ、総説・原著・資料・論著等の原稿の種類の区分、和文表題、英文表題、キーワード（和英各5語前後）、表および図等の数、著者名、同ローマ字、所属機関名、同欧文名、および連絡先の氏名、住所、郵便番号、電話番号、Eメールアドレスを明記する。

また、別刷り希望部数（10部単位）、および編集者への注意事項を朱記する。なお、別刷り希望部数のうち30部までは、当分の間、学会で補助する（至急の場合を除く）。

5. 原稿の送付

原稿は原文（抄録、図表、写真などを含む）およびそのコピー2部ならびに原稿と同一内容のファイルの入ったメディア（CD、DVDまたはUSBメモリ）を以下の編集事務局宛に書留郵便により送付する。

〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

杏林大学医学部衛生学公衆衛生学教室内

日本健康学会編集事務局

6. 原稿の返却

使用後の原稿は原則として返却しない。

7. 論文の採否

論文は編集委員会が査読し、その採否の決定をする。受理通知が届いたら、最終的に修正した原稿は、メディアに再度入力し直し、原稿とともに編集事務局に送付する。

8. 校正

初校は著者校正とする。著者校正の際の加除は原則として認めない。

9. 抄録

和文原稿には英文抄録（約200語）とその和訳を、英文原稿には英文抄録（約200語）のほかに和文

抄録（800字以内）をつける。

10. 英文原稿

欧文原稿はA4サイズの紙を用いダブルスペースでタイプまたはワープロする。原稿は、できるだけ専門家または専門機関により当該論文の校閲を受けた後、校閲済みの証明書を添えて提出するものとする。この証明書が無い場合で、当該論文の英語に問題が多く掲載に堪えないと判断した時は、信頼できる専門機関において英文校閲を受けた上で再提出していただくことになる。この場合の校閲に要する実費は著者負担とする。

11. 和文原稿

ワープロを用いてA4サイズの紙に36字20行横書きで作成する。

12. 論文の構成

原著、資料などの構成は原則として、抄録、緒言（研究目的を含む）、方法、結果、考察、結論、謝辞および文献とする。

13. 倫理的配慮

投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを記載する。なお、ヒトを対象にした研究では、ヘルシンキ宣言ならびに文部科学省・厚生労働省「疫学研究に関する倫理指針」あるいは他の適切な指針に従わなければならない。動物を対象にした研究では、実験が実施された組織における実験動物に係わるガイドラインに則した研究であることが求められる。倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は、承認した倫理審査委員会の名称を本文中（「方法」の項）に記載する。

14. 項 目

本文の項目分けは第1章、第1節……などとせずI, 1, 1), (1), ①……とする。

15. 図表等

図表は別紙に書き、本文の欄外に図表の入る位置を赤字で指定する。また図は図1、図2……(Fig. 1, Fig. 2……)、表は表1、表2……(Table 1, Table 2……)のように番号をつける。図表には必ず表題をつけ、原則として図は下、表は上に記入する。原図の大きさはA4版以内とし、白紙に黒インクまたはプリンターを用いて明瞭に作成すること。写真は白黒で明瞭なものに限る。なお提出された図表が印刷にたえない場合は図表を改めて作成し、その実費は著者負担とする。

16. 脚 注

脚注はなるべく遠慮されたい。

17. 謝 辞

著者は研究費に対する財政的援助、および監督的立場（役員）、株式所持、契約などのその他の利益相反（conflicts of interest : COI）の全てについて開示すること。また、技術的項目・統計学的解析・写真的援助、同僚からの助言に対する謝意はこの項目に記す。

18. 文献の引用

文献は引用順に番号を付けた上で、本文の最後に一括して引用番号順に記載する。本文中では、引用箇所の右肩に「…知られている¹⁾。または、…¹⁻⁵⁾, ^{1,3-5)}」のように文献番号を付けて示す。

引用文献は、すでに発行された文献か、掲載決定済みの原稿に限られる。未公表のデータ、投稿中の原稿、特殊な報告書、私信など一般的に入手不可能な資料は引用を差し控える。

著者は引用文献の記載内容の正確性について責任を負い、すべての引用文献を投稿および校正の際に確認しなければならない。

19. 文献の記載様式

文献は下記の様式に従って記載する。その際、文献の著者が3人までは全員、4人以上の場合は3人までを挙げ、4人目以降は省略して、和文では『、他』、英文では『, et al.』とする。

下記の様式は、Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing and Publication of Scholarly Work in Medical Journals (<http://www.icmje.org/>) に準拠している。

1) 雑誌の場合

著者名、論文名、雑誌名、発行年（西暦）；卷：開始頁－最終頁。

(1) 萱場桃子、中澤浩一、近藤正英、他. 夏期における高齢者の夜間のエアコン使用に関する研究. 民族衛生, 2013; 79: 47-53.

(2) Oura A, Mori M, Izumi H, et al. A demographic description of caregivers in Sapporo Japan: male caregivers are here to stay. Jpn J Health Hum Ecol, 2013; 79: 3-10.

(3) (英文論文に和文文献を引用する場合)

Sugiura K, Ito M, Kutsumi M, et al. The causal relationship between caring experience and mental health state; the case of spouse caregivers who caring the patients at home. Jpn J Public Health, 2010; 57: 3-15 (in Japanese).

2) 著書の場合

(引用頁がない場合)

著者名、書名、発行所所在地：発行所、発行年（西暦）。

(4) 鈴木継美、和田攻. ミネラル・微量元素の栄養学. 東京：第一出版、1994.

(5) Agarwal DP, Goedde HW. Alcohol Metabolism, Alcohol Intolerance, and Alcoholism. Berlin, Heidelberg: Springer-Verlag, 1990.

(引用頁がある場合)

著者名、表題、編者名、書名、発行所所在地：発行所、発行年（西暦）：開始頁－最終頁。

(6) 山崎喜比古. 薬害 HIV 感染被害者遺族調査の経緯と概要. 山崎喜比古、井上洋士（編著）. 薬害 HIV 感染被害者遺族の人生：当事者参加型リサーチから. 東京：東京大学出版会、2008: 1-19.

(7) Hanlon JJ. Scope of public health. In: Hanlon JJ ed. Principles of Public Health Administration, 5th ed. Saint Louis: Mosby, 1969: 10-11.

3) インターネット上のウェブサイトなど

雑誌、著書で適切な資料が得られない場合のみ引用を認める。その場合、サイト名、URL を簡潔かつ正確に記載するとともに、最終アクセス年月日も付記する。

(8) 平成23年(2011)患者調査の概況. 厚生労働省. <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/11/index.html> (2013年8月29日).

(9) Global Strategy for Infant and Young Child Feeding. World Health Organization. http://www.who.int/nutrition/topics/global_strategy/en/ (cited August 29, 2013).

20. 雜誌名の略号

雑誌名の省略形は、和文では医学中央雑誌 (<http://www.jamas.or.jp/user/database/search/main>)、英文では Web of Science (http://images.webofknowledge.com/WOK46/help/WOS/A_abrvjt.html) または Index Medicus (<http://www2.bg.am.poznan.pl/czasopisma/medicus.php?lang=eng>) の、それぞれ最新版で使用されているものに従う。

21. 至急扱い

至急掲載希望の投稿者は、至急手数料2万円を三菱UFJ銀行吉祥寺支店（普）2649530に振り込むとともに投稿原稿にその旨を記載して「日本健康学会編集事務局」宛申し込むことができる。

22. 学生割引

原稿受付日に学部あるいは大学院の学生である者はその証拠書類を添えて投稿することができる。

23. 投稿チェックリスト

投稿にあたっては、「日本健康学会誌」チェックリストを使用して上記の原稿作成要領に従っていることを確認する。使用したチェックリストは、原稿と一緒に編集事務局宛に送付する。

（作成年月日：昭和55年10月25日）

（第13次改訂年月日：平成30年11月13日）

日本健康学会誌チェックリスト

このチェックリストを付けて投稿して下さい。

- 投稿論文の筆頭著者と連絡責任著者は日本健康学会の学会員であるか。
- 共著者は研究の遂行や論文の作成に貢献しているか。共著者は最終原稿を確認して、本誌に投稿すること、論文の内容全てに関して責任を負うことを了承しているか。
- 投稿論文は、すでに活字媒体や電子媒体によって公開されていないか。他の雑誌に投稿中の論文（内容が本質的にオーバーラップする論文を含む）ではないか。
- 表紙には原稿の種類、和文表題、英文表題、キーワード（和英各5語前後）、表および図等の数、著者名、同ローマ字、所属機関名、同欧文名、および連絡先の氏名、住所、郵便番号、電話番号、Eメールアドレスが明記されているか。また、別刷り希望部数（10部単位）および編集者への注意事項が朱記されているか。
- 和文原稿には約200語の英文抄録とその和訳が付いているか。英文原稿には約200語の英文抄録と800字以内の和文抄録が付いているか。それらの内容は一致しているか。
- 英文原稿は専門家または専門機関により校閲を受けているか。A4サイズの紙にタイプまたはワープロを用いてダブルスペースで作成されているか。
- 和文原稿はワープロを用いてA4サイズの紙に36字20行横書きで作成されているか。
- 論文は抄録、緒言（研究目的を含む）、方法、結果、考察、結論、謝辞（利益相反の開示を含む）、文献に分けて記載されているか。
- 研究内容が倫理的配慮を必要とする場合、「方法」の項に倫理指針に基づく配慮が記載されているか。ヒトを対象とした研究の場合は、承認を得た倫理審査委員会等の名称が明記されているか。
- 本文の項目分けや図表等の記載方法が投稿規定に従っているか。
- 謝辞に、研究費に対する財政的援助、および監督的立場（役員）、株式所持、契約などその他の利益相反（conflicts of interest : COI）の全てについて開示されているか。
- 文献の引用および記載様式が投稿規定に従っているか。
- 原稿の送付に当たり、原稿正1部・副2部（コピー）および同一内容ファイルの入ったメディア（CD、DVDまたはUSBメモリ）が同封されているか。